

コロナ下火を見定め、都内の庭園巡りを実施!

千代田
区職労

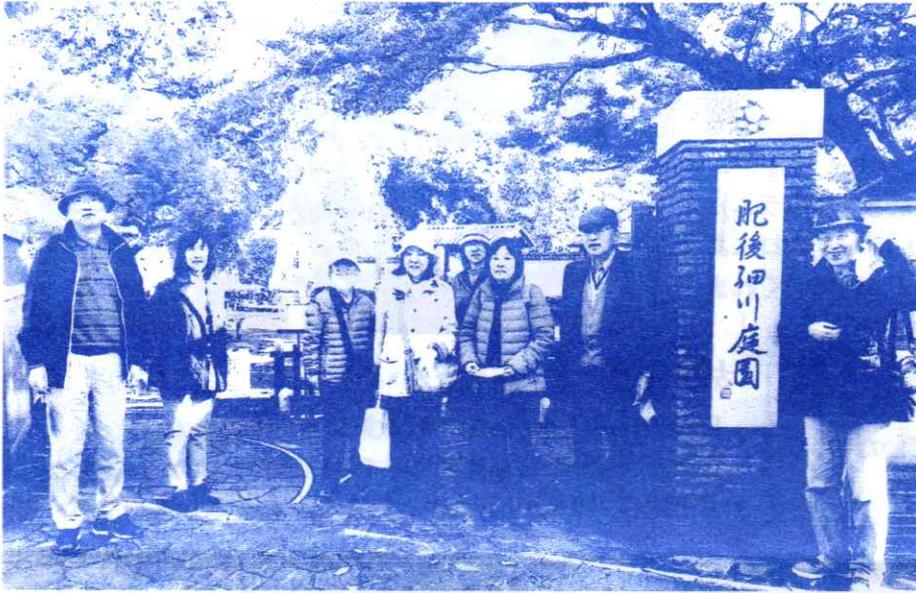
退職者会ニュース

第2021-8号
21年12月10日
退職者会
ニュース
編集委員会
3221-0052

よい
お年を

肥後細川庭園の紅葉まつ盛り

昨年12月2日に行った「浜離宮恩賜庭園」での「紅葉狩り散歩」以来約一年ぶりとなる11月26日、「コロナ感染が下火になったのを見定めて、さすが今年も紅葉狩りを催行しました。場所は前号で紹介した文京区目白台の肥後細川庭園。参加者は9人でしたが、長い逼塞生活から解放され、都心の紅葉を満喫しました。



来年1月に 定期総会 を開催する予定です

昨年1月24日に定期総会を開催した直後から、新型コロナウイルス感染が蔓延し出し、今年には総会を開催できずにいました。

幹事会では、感染が下火に推移している今、「このままの状況が続くならば総会を開催することは可能」と判断し、総会の準備を始めています。

時期は来年1月25日頃、場所は文京区・小石川後楽園内の「涵徳亭」を候補会場としています。

なぜ、公園内の施設を候補に挙げているかというと、水戸藩ゆかりのこの庭園では、早咲きの梅が観られ冬場の庭園散策が楽しめることと、園内の涵徳亭では会議も食事もできることから、総会後はささやかな会食の場（従来の総会後の新年会に代わる宴）を持つことができる、という理由からです。

年が明け、コロナ感染が引き続き収まっているようでしたら、次号ニュースで詳しくお知らせします。

今回の催しは、退職者会ニュースで毎号連載している「東京近郊花巡り」を、紙面で紹介するにとどめず、実際に現地に行ってみよう、というとりくみでした。会ニュースでの紹介と同時に、催行する日時や集合場所を定めて紙面で参加者を募集しました。

とくに事前の申し込みを必要とせず、その気になったらぶらりと集合場所に来てもらえばいい、

「東京近郊花巡り」の連載と合わせての実地の散策は今後も続けていく予定です。みなさんぜひ気軽に参加してみてください。ご家族や友人を誘っての参加も大歓迎です。



コースも自由です。ただし...

退職者会宛てに、 年賀状を出してください

年賀状を強要するような見出しで「ごめんなさい。出してお年玉を当てよう」というものではありません。

会員のみなさんのお元氣な様子を知りたいのです。お知らせに年賀状を出し続けている方は、同封した年賀はがきで退職者会宛てを1枚混ぜてください。もう年賀状はやめているという方は、今回1枚だけお願いします。

できましたら、余白に一行だけでも、近況を書き入れてくださると、とても嬉しいですよ。そして、その近況を会ニュースで紹介させていただくと、より多くの会員がとてもうれしく感じられるでしょう。



という気楽な催しにしました。この日の担当幹事の小路さんの案内で、約3時間の都電を使った都内散策が行われました。(どのような内容だったかは、2面を参照してください。)

このニュースの4面には「渋谷区ふれあい植物センター」の紹介が載っています。今月は何かとせわしない時期でもあり、場所も渋谷駅至近の分かりやすい所なので、会としての実地散策は行いません。興味のある方はぜひご自分で出かけてみてください。

次号掲載地については、コロナ感染の状況を見定めて実施する予定です。

東京近郊 晩秋の花めぐり ～肥後細川庭園散策～

橋本 泉

退職者会の久しぶりの企画、『都電に乗って肥後細川庭園に行こう』に参加しました。

集合場所のJR王子駅には、自宅近くから出る直行のバスに30分ほど乗ると到着。一年近く会えなかった退職者会のみさんが変わらずお元気だったのはうれしかったです。

目的地最寄り駅の早稲田まで都電荒川線（東京さくらトラム）に30分ほど乗り、神田川沿いを歩いて細川庭園へ。入口にある緑と赤のグラデーションがきれいなもみじが出迎えてくれました。散策前に細川家の学問所として使用されていた

松聲閣（しょうせいかく）で、お抹茶と花梨を使った熊本の和菓子をいただき、その後二階の回遊式展望所から庭園を見渡すと松の雪吊りが大きく堂々としていたのが印象的でした。

池の遊歩道をゆっくり歩きながら、水面に映った紅葉や泳ぐ鴨達、黄色い花をつけたツワブキ、撮影に来ていた花嫁花婿の初々しい姿にも癒され、穏やかな時間が過ごせました。

その後、松尾芭蕉が江戸時代初めに住んでいたという関口芭蕉庵を訪れましたが、残念ながら休園だったため門前で写真を撮って帰路へ。お土産に買った熊本の駄菓子、黒糖ドーナツ棒は素朴な甘さでとても美味しかったです。

肥後細川庭園散策 参加者の手記

雪吊りのある
庭園を背景に



故郷熊本を懐かしむ 吉本 茂喜

11月26日退職者会の細川邸散策に参加しました。

まず、王子駅から都電荒川線で早稲田駅まで向かいました。かぐや姫の♪神田川がはやったころよく乗車しましたが、電車の色や形が変わり、周囲の景色も記憶にあるものは少なくなっていました。見覚えのある神田川を見ると、ほっとした気分になりました。一句「里帰り、見知らぬ人まで 懐かしく」。

早稲田駅から神田川を見ながら10分程度、旧肥後細川邸（下屋敷）に到着。熊モンが出迎えてくれました。細川家は私の故郷熊本の領主で54万石の大名家でした。伝えでは、細川家は足利幕府の管領家の家系で、和歌集・茶道など文化を尊ぶ半面質素で、珍しいことに、江戸時代を通して戦災など火災被害を受けたことがないということです。ここ細川邸も、被災しなかった文化史跡になります。

施設内は、細川氏の住まい及び学問所だった松聲閣（しょうせいかく）という2階建ての建物があり、畳づくりの部屋はそれぞれ肥後六花（椿、菊、花菖蒲、朝顔、芍薬）の名前がつけられ、部屋は会議室・休憩所・売店などとして利用されています。松聲閣の二階からは庭園全体が見渡せました。

松聲閣を降りて庭園内を歩くと、大池と滝もある回遊式庭園があり、庭園の隣には椿山荘の建物が隣接していました。時間の関係で足を延ばせませんでしたか、永青文庫という細川家に伝わった文化遺産が保管されている施設が庭園内聲魔の裏側にあるそうです。

庭園を出て、神田川沿いに南に向かうと、水関跡があつて関口芭蕉庵跡とされていました。俳人松尾芭蕉が神田用水の改修工事に携わった時住んでいたところと言われています。秋の紅葉下の散策、都心にもまだまだ心安らぐ風情があるものだと思いを新たにしました。

散策には、小路さんが下調べを綿密に行い、細かいところまで教えてもらいました。有り難うございました。

駅から散歩 都電と肥後細川庭園

櫻井和恵

前回から一年ぶり、ようやく開催できた退職者会街歩き。久しぶりに遠足気分に参加しました。

都電の王子駅までは家から徒歩で15分ととても近いのに都電に乗る機会はめったにありません。今回は都電の乗車も目的に参加しました。路地や、家の庭先を走るような懐かしい下町の風情から早稲田までの車窓を楽しみました。

肥後細川庭園は比較的小じんまりした池泉回遊式の庭園。台地を山としてうまく利用して散策も楽しめました。文京区の管轄ですが庭園はとても綺麗に管理され入園無料も有難いです。ハゼやモミジの紅葉も見ごろでした。日本庭園を背景に写真撮影の花嫁、花婿さんにも遭遇、幸せな気分になりました。

松聲閣でいただいた抹茶とお菓子、とても美味しかったです。約9千歩の散歩、何より退職者会の皆様とご一緒でき元気をもらいました。

都退協総会開催

幹事 藤本 佳男

12月1日、東京労働会館で24支部48人が参加して都退職者会協議会総会が開かれました。

渡辺会長の挨拶の後、元気象庁研究室長の増田善信氏による「気候危機とCOP26」の講義を受けました。豪雨や猛暑日が多くなり、異常気象が温暖化で進んでいる事。温暖化は止められる事。政府を変えエネルギー転換を実現しよう、等、大変参考になりました。支部からの発言で、コロナで会員の交流が無くなった、コロナに気をつけながら交流会無しで総会を開いた、といった報告がありました。

都退協総会の模様



まだ間に合う

医療費窓口負担2倍化



75歳以上医療費窓口負担2割化を中止させよう!

今年6月、国会で75歳以上医療費窓口負担2割化法が可決されました。この法律が実施されると2022年後半から、75歳以上で年収200万円以上の人(約370万人)の医療費窓口負担が2割となります。国会審議の中で、

① 2割負担導入によって現役世代の負担を減らすとしているが、その負担軽減効果はわずか月額約30円であること
 ② 高齢者への負担増は受診控えを招くことが、各種調査で明らかになって

いるにも関わらず、政府は「健康悪化には結び付かない」としていること
 ③ 2割負担増の対象者を国会審議を経ずに政令によって広げることができ、数多くの問題点があきらかにありました。

負担増は

富裕層 大企業に

のち・健康・人権の侵害です。応能負担は窓口負担に求めるのではなく、富裕層や大企業の税・保険料負担に求めるべきです。先進国では、医療費の窓口負担は無料が当たり前です。

現在、ネット署名が取り組まれています。インターネットを使える方はぜひ、change.org(チェンジドットオーグ)「75歳以上の窓口負担2割化を撤回してください!」にアクセスしてみてください。

緊張を高める岸田政権の「敵基地攻撃能力の保有」

前号1面で、「憲法が危ない!」という記事を掲載して、憲法改悪とりわけ9条改憲の動きが強まる危険性に警鐘を鳴らしましたが、

その後の動きは、岸田政権が憲法違反の「敵基地攻撃能力の保有」を公然と能力の保有」を公然と

え、歴代自民党政権もやれなかった防衛費のGDP比1%以内の原則を破ろうとしています。

これは6年前の安倍政権下での集団的自衛権行使の閣議決定と、それに続く「安保法制」(いわゆる「戦

争法」の強行可決以来、日本を「戦争する国」に導くさらなる一歩です。

しかしその障害となるのが、憲法9条をはじめとする憲法の平和主義の理念です。改憲派は、9条に自衛隊を書き込むこと、緊急事態条項を創設することなどを盛り込んだ自民党改憲4項目案をベースに、国会の憲法審査会で改憲案作りを急ごうとしています。

この間の二度の大規模な署名運動などによる世論の高まりの中で、安倍政権は憲法に手を付けることができずに退陣となったことは記憶に新しいところです。

退職者会は二つの署名に精力的に取り組む、多くの会員のみなさんの協力で、憲法改悪を許さず今日まで頑張ってきています。

この間の二度の大規模な署名運動などによる世論の高まりの中で、安倍政権は憲法に手を付けることができずに退陣となったことは記憶に新しいところです。

この間の二度の大規模な署名運動などによる世論の高まりの中で、安倍政権は憲法に手を付けることができずに退陣となったことは記憶に新しいところです。

この間の二度の大規模な署名運動などによる世論の高まりの中で、安倍政権は憲法に手を付けることができずに退陣となったことは記憶に新しいところです。

この間の二度の大規模な署名運動などによる世論の高まりの中で、安倍政権は憲法に手を付けることができずに退陣となったことは記憶に新しいところです。

憲法改正の発議

国会議員(衆議院100人以上、参議院50人以上)の賛成により憲法改正案の原案が発議され、衆参各議院においてそれぞれ憲法審査会で審査されたのちに、本会議に付されます。

両院それぞれの本会議にて総議員の3分の2以上の賛成で可決した場合、国会が憲法改正の発議を行い、国民に提案したものとされます。

なお、憲法の改正箇所が複数ある場合は、内容において関連する事項ごとに区分して発議されます。

新しい署名運動が始まる

こうした選挙後の新たな状況に対応するため、全国市民アクションと総がかり

2017年5月に「2020年を新しい憲法を施行する年にしたい」と当時の安倍首相が述べてから、その年の秋から始まった「安倍9条改憲NO」全国統一署名」をとりくみ、全国で1350万筆もの署名が寄せられました。

その後、市民と野党共闘

この間の二度の大規模な署名運動などによる世論の高まりの中で、安倍政権は憲法に手を付けることができずに退陣となったことは記憶に新しいところです。

これまでの退職者会の憲法改悪反対の取り組み経過

退職者会では、今年初めから「75歳以上の医療費の2倍化反対署名」に取り組み、94筆の署名が寄せられました。全国でも多くの署名が国会や政府に届けられました。そうした声を無視して強行に可決されてしまいました。来年の実

区職労委員長は退職者会の顧問の職を兼ねますが、引き続き城直さんが当たることになりました。

区職労定期大会

顧問に城直委員長

千代田区職労の定期大会は、10月26日午後6時から本庁舎会議室で行われました。

コロナの影響もありましたが、約40人が参加しました。退職者会からは藤本副会長が出席しました。

城直委員長の開会挨拶の後、特区連からのメッセージが読み上げられました。引き続き退職者会からも挨拶し、藤本副会長は、来る衆議院選挙は直接公務員に影響する、ぜひ積極的に投票してほしいと、訴えました。

区職労委員長は退職者会の顧問の職を兼ねますが、引き続き城直さんが当たることになりました。

この間の二度の大規模な署名運動などによる世論の高まりの中で、安倍政権は憲法に手を付けることができずに退陣となったことは記憶に新しいところです。

この間の二度の大規模な署名運動などによる世論の高まりの中で、安倍政権は憲法に手を付けることができずに退陣となったことは記憶に新しいところです。

この間の二度の大規模な署名運動などによる世論の高まりの中で、安倍政権は憲法に手を付けることができずに退陣となったことは記憶に新しいところです。

この間の二度の大規模な署名運動などによる世論の高まりの中で、安倍政権は憲法に手を付けることができずに退陣となったことは記憶に新しいところです。

東京近郊冬の花巡り

寒い季節、でもここは別世界。今回は冬でも暖かい温室の植物園を紹介します。

ただし、来年は休園となり、平成5年から新しい施設として生まれ変わるようです。植物園としては今年で最後ですので、ぜひ、訪れてみてはいかがでしょうか。



【渋谷区ふれあい植物センター】

日本で一番小さな植物園の温室には、200種類以上の熱帯植物が栽培され、さながら都会のオアシス。ガーデンを上から楽しめる休憩スペースは飲食可能。四季折々の講座・実習・イベントの他、随時花と緑の相談も出来ます。

所在地：渋谷区東2-25-37

開園時間：午前10時～午後6時

(入園は午後5時30分までに)

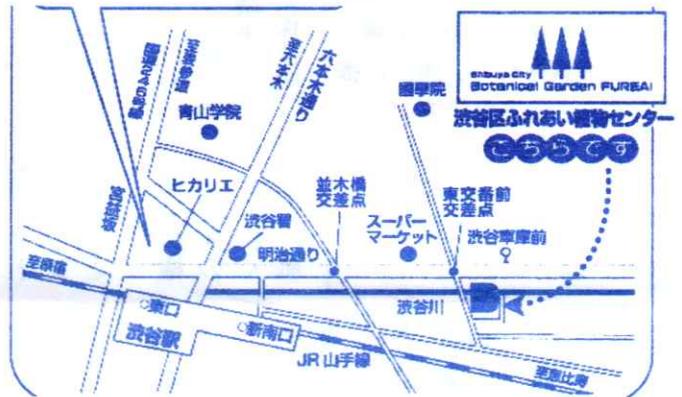
休園日：毎週月曜日、12月29日から休園

入園料：100円 60歳以上の方と幼児、区内在住の小中学生は無料

交通：渋谷駅東口から徒歩約12分、新南口から徒歩5分

都バス(都06・新橋行 及び 田87・田町行) ハチ公バス いずれも「渋谷車庫」下車2分

※ 駐車場はありません。



明治・大正時代2

日本の明治・大正時代に関する問題

パート2です。空いている箇所を埋めましょう

- ① 明治17年岡山に生まれ、現代にも残る美人画を数多く残した画家()は「大正の浮世絵師」として人気に。
- ② 歌集『一握の砂』の中で「はたらけどはたらけど猶わが生活楽にならざりぢつと手を見る」と歌った歌人は()。
- ③ 女性の権利獲得を行った平塚らいてうは、雑誌『青鞥』の中で、「元始、女性は()だった」と宣言した。
- ④ わずか15年の大正時代だが、民主主義の発展を目指し、大正()が発生した。
- ⑤ 1914年、サラエボ事件をきっかけに()勃発。日本も参戦した。
- ⑥ 1918年、米の価格急騰に伴い、富山から全国に広がった暴動を()という。
- ⑦ 1925年、普通選挙法が制定。納税の有無にかかわらず満()歳以上の男子に選挙権が与えられた。
- ⑧ 後にノーベル文学賞を受賞した()が『伊豆の踊子』を著す。

歴史クイズ

難読漢字

何と読むでしょうか



(空と天気)

1. 朝月夜(朝方のまだ残っている月)
2. 御降(正月三が日に降る雨や雪)
3. 沫雪(初春のすぐ解ける雪)
4. 玉兔(付きの異名)
5. 細雪(細かく降る雪)

第73回「19日行動」

「改憲発議反対！ 辺野古新基地建設反対！ 敵基地攻撃能力保有反対！ いのちと暮らしと営業を守れ！ 議員会館前行動」

日時 12月19日(日)午後2時～

場所 衆議院議員会館前を中心に

<退職者会の集合>

午後1時30分

地下鉄永田町駅2番出口(地上)

6年前の戦争法強行に抗議して生まれた市民と野党の共同行動、絶えることなく続けられ、今月で73回を数えます。退職者会はずっと参加し続けています。

脳トレと歴史クイズの答え

- 歴史クイズ 答え ① 竹久夢二 ② 石川啄木 ③ 太陽 ④ フェモクラシー ⑤ 第一次世界大戦 ⑥ 暴動 ⑦ 25 ⑧ 川端康成
- 難読漢字 答え 1. あさづよ 2. おさがり 3. あわゆき 4. きよくと 5. ささめゆき

今年を振り返って

西本由起子さんのつぶやき

新型コロナウイルスに振り回された二年でした。あそこに行ってもいいかしら、これやっても大丈夫かな？ 出かける時はマスクをチェック。巷ではそんな注意や気遣いを、みんなが頑張ってやっていた。そんな中で行われたオリンピック、パラリンピック。そこを目指して来た選手たちには本当に気の毒だったと思います。IOC・オリンピック委員会は、そんな選手たちのことを本当に大切に思っていないだろうか？

今、中国のテニス選手とバツハ会長の話題も同じ。オリンピックの精神の初めに立ち返ってみる事が、頑張っている選手たちを大切にすることではないかと思えます。

そろそろ色々再開、と思ったらオミクロン株。気持ちは負けずに、やれる事をやっつけていこうと思います。